

Title	令和 2 年度各学部・研究科等の FD 活動報告
Author	
Citation	大阪市立大学大学教育. 19 卷 1 号, p.99-122.
Issue Date	2022-03-31
ISSN	1349-2152
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	Publisher
Publisher	大阪市立大学大学教育研究センター
Description	
DOI	10.24544/ocu.20220318-004

Placed on: Osaka City University

■ FD活動報告

令和2年度各学部・研究科等のFD活動報告

【商学部・経営学研究科】

1. FD研修会の実施

日 時：2021年3月6日（土）17：40～18：40

開催方法：Zoom

演題・講師：「本多のオンライン授業について」

（本多哲夫・経営学研究科教授）

「遠隔授業：学生からの意見」

（王亦軒・経営学研究科准教授）

参加人数：32名

2. 学期ごとの授業評価アンケートの実施

全学統一方式による授業評価アンケート

実施日時：

期末アンケート（2020年8月3日（月）～8月7日（金）、2021年1月8日（金）～2月10日（水））

中間アンケート：7週目（中間時期）前後の授業までの適切な時期 ※集中科目は最終授業時に実施

実施科目：すべての科目

アンケート項目：期末アンケート（全学授業評価アンケート実施手順に準じる）、中間アンケート（自由記述）

対象者：受講学生全員

アンケート結果のフィードバック方法：

ポータルサイトに掲載（期末アンケート）

3. 成績不振な学生に対する学習相談

一定の基準にもとづいて成績不良者（留年・仮進級生）をリストアップし、専門ゼミナールに所属している学生についてはゼミ教員が、専門ゼミナールに所属していない学生については、1回生時のプロ・ゼミナール担当教員や教務委員等が直接面接・連絡し、学生の状況を把握するとともに、学力向上の方法について共に考える機会を作った。尚、本年度は、コロナ禍で、一

度も1回生が来学できない状況下で授業が開始されたため、1年生には教務事務と連携をとりながら特段の配慮を行いながらケアを行った。

4. 実践的な課題発見・課題解決型授業の実施

「現代GPプログラム」を継承・展開した、実践的な課題発見・課題解決型授業を実施している。1年生向けの「キャリアデザイン論」では、（株）つば市製茶本舗等にも協力いただき、複数の教員が共同で実施した。

5. 経営学会主催の新入生歓迎会

日 時：2020年7月3日（金）17：00～18：30

実施方法：オンライン

人 数：約80人

概 要：学生主催（約15人）により、新入生が数年前に同じ立場にあった学生から直接話を聞く機会を設けた。新入生の大学に対する理解の向上と大学生活へのスムーズな移行を目的としているが、在校生にとっては、日頃の学習内容を実践する場となっている。

6. 経営学会主催大学院生向け研究会

日 時：2020年7月27日（月）15：15～16：55

参加者：約30名（大学院生・教員）

概 要：大学院生向け研究会では北野先生が「研究事例の紹介」についてオンラインで報告された。また、小沢先生と王（亦）先生がそれぞれ司会とコメントを担当した。大学院生にとっては、論文執筆やプレゼンテーションの方法を知る貴重な機会となった。

7. 『CORE（学生論文特別号）』優秀論文受賞者はネッ

トにて発表

日 時：2020年11月24日（火）

受 賞 者：10名

概 要：『CORE・学生論文特別号2020』に掲載された論文23本の選考を行い、最優秀論文1本、優秀論文9本計10本を決定。学生の勉強意欲を高めるための新しい試みであった。

8. その他

公共経営学科による学びの演劇「公務ing my way！」と「ショートドラマ」の制作・配信

日 時：2020年8月11日～28日

場 所：YouTube大阪市立大学公式チャンネル

視 聴 者：約千名（学部生・大学院生・教職員・市民）

概 要：経営学研究科本多哲夫教授が執筆したオリジナル脚本をもとに本学の学生劇団「劇団カオス」がWebラジオドラマとして制作し、YouTubeの大阪市立大学公式チャンネルで配信をおこなった。商学部で2018年度から新設した公共経営学科の教育・研究で重要なテーマある、地域社会の活性化を中心テーマとした内容である。多くの学生・教職員・卒業生・市民に視聴された。

【経済学部・経済学研究科】

1. 学部FD研修会

1.1 テーマ「WebClass & MS Teams 利用方法」

開催日程：11月17日（火）13：00～13：30

講 師：経済学研究科 中島義裕

開催方法：Zoom

内 容：遠隔授業のやり方は個人によりばらつきがあり、まだ改善の余地もある。web classをより有効に活用し、学部・研究科の授業の改善を行う。

1.2 2020年度商経共同人権問題研修会の開催について テーマ「大阪市におけるヘイトスピーチ対策の現状と課題」

開催日程：12月15日（火）13：00～14：00

講 師：郭 辰雄（コリア NGO センター代表理事）

開催方法：Zoom

内 容：ヘイトスピーチ対策の現状・対策・課題、そして、ネットでの誹謗中傷の現状・課題を説明のもと、質疑応答を行う。特に、ネットでの誹謗中傷に関しては、機をみて、学生への注意喚起を心掛ける。

2. 学部イベント開催の是非に関する協議と開催

2.1 旧三商大学生討論会のオンライン開催

開催日程：12月12日（土）13日（日）

参 加 者：主に旧三商大の学生と教員

開催方法：Zoom

内 容：テーマに基づくセッションごとに参加ゼミが研究テーマを発表し、他のゼミと討論を行う。

2.2 Webclassを利用したゼミ選択とその決定

学生によるゼミ希望の優先順位、そして、学生匿名のもとで成績（GPA）やゼミ志望書をもとに教員により学生の優先順位をつけ、あるマッチングアルゴリズムのもとゼミ決定を行った。これは、初めての試みによるゼミ決定であったが、学生・教員とも、ある程度満足いく結果が得られた。

3. COIL（Collaborative Online International Learning）の実践

経済学部では、1年生、2年生を対象としたアクティブ・ラーニング型演習科目であるイノベティブ・ワークショップにおいて、4つのクラスがWeb toolを用いてCOIL型教育を行った。フィリピンのデラサール大学経済学部で開講されている開発経済論の授業と連携し、両大学の学生が教育、雇用、家計、健康、労働の5つの分野に応じたグループに別れて調査を行った。

4. 成績不振者・休学者対策

3年次にゼミ履修条件を満たしていないものや、科目履修をしていない学生の中から特に注意を要する学生を対象に郵送で通知を行い、学部業務を含む相談窓口を案内した。大学院に関しては、休学者に対して今後をメールと電話で相談した。

5. 新経済学部設置準備委員会

市大・府大の経済学系の一部教員から構成される準備委員会のメンバーのもと、委員会を適宜開催し、新大学における経済学部と経済学研究科の設置に関して、DP, CP, APを新しく設定し、講義や入試制度に関して検討した。そのもと、必要な設置計画書等を作成した。

【法学部・法学研究科】

学部・大学院（法学政治学専攻）

1. FD集会の実施

(1) 第1回FD集会

日 時：2020年9月29日（火）18：10～18：30

場 所：zoomにて実施

出席者：31名

議 題：2020年度教育の内部質保証に関する点検について

1. 法学部・法学研究科教育の内部質保証実施要領に基づき、2020年度のデータ集を配布し、手塚FD委員より内容紹介とともにそれをもとに点検を行った。
2. 学生受入の内部質保証の観点から、特に、新入生の状況について、1回生前期の専門教育科目を担当した教員（「法学入門」渡邊教授、「基礎演習」勝田教授）より実施状況について報告があり、成績分析及び点検を行った。

(2) 第2回FD集会

日 時：2021年3月20日（土）14：45～15：20

場 所：zoomにて実施

出席者：32名

議 題：

1. 「対面授業と遠隔授業の関係」 意見交換

2020年度後期に法学部講義（授業、試験）を遠隔で実施した際の、経験や課題について、教員数名から話題提供を受けながら、全員で意見交換を行った。あわせて、手塚内部質保証WG委員より、遠隔講義の履修状況と成績分布の相関等についても、情報提供を受けた。

2. 「コロナ学生生活意識調査法学部分」 意見交換

全学で実施された、新型コロナウイルス緊急事態宣言下における学生生活意識調査アンケートのうち、法学部・法学研究科にかかわるデータと学生自由記述を抽出したものについて、安竹研究科長より話題提供を受けて、学生の生活状況、学修状況の変化等を引き続き注意深く見ていくことを確認した。

2. 授業評価アンケートの実施

全学授業評価アンケートを前期・後期ともに実施した。

3. 大学院生との懇談と結果の共有

大学院生（院生協議会）の求めに応じて、研究科長会見を実施した。

日 時：2020年12月2日午後13：30～

開催方法：対面とZoomのハイブリッド

参 加 者：安竹研究科長、岡成大学院教務、院生代表、院生

内 容：

1. 自宅からVPN接続可能な法学データベースの拡充
2. 院生と教員の交流について
3. 新大学法学研究科の詳細について

4. カリキュラムの改善等の検討体制

研究科内に常設された組織（研究教育体制検討委員会）において、学部・大学院（法学政治学専攻）の研究教育に関する事項について検討する体制を構築している。今年度は、学部・大学院の教務関連事項（履修規定の改正、カリキュラムの改善等）について検討した（委員会は計10回開催）。

5. 新型コロナウイルス感染症対応下における取組み

1. コロナ対応下における法学部講義実施支援体制の構築

遠隔授業の実施にあたり、Microsoft Teamsの活用し、教員間で相談できる体制を構築した。

2. 【関連行事】大阪市立大学法学会主催新入生歓迎会の開催

日 時：2020年9月30日（水）

第1部： 13時45分～14時45分頃

第2部： 15時30分～16時30分頃

場 所：法学部棟730教室

*上記2部制で、検温、換気、着席等感染拡大防止対策を徹底して実施

内 容：例年4月1日に開催される法学部新入生ガイダンスに合わせて開催されてきた、大阪市立大学法学会主催新入生歓迎会は、今年度は後期開始前の9月30日に開催された。コロナ対応下の今年度はとくに、一連の歓迎行事を実施することはもちろん、後期から一部対面授業が再開することを見すえて、新入生に大学に入学したというリアリティを感じてもらう機会とすることを、目的としていた。また、終了後には、先輩からのアドバイスの機会なども設けられた。以上の趣旨を汲んで、今年度はとくに、法学会主催新入生歓迎会開催についても、(学部の取組みでもなく、教務関連事項の伝達等を目的とするものでもないが)コロナ対応下のFD活動にかかわる取組みの1つとして、記しておく。

※ 付記

新型コロナウイルス感染症対応下において、例年実施しているものの今年度は実施できなかった取組みを、以下の1～3に記しておく。

1. 相互授業見学

例年、前期・後期に実施している相互授業見学は、コロナ対応下の今年度については、前期・後期とも実施せず。

2. 学部生との懇談と結果の共有

例年、学部ゼミ幹事学生との連絡会を設けて実施している学部生との懇談は、コロナ対応下の今年度については、実施せず。

3. 大阪市立大学法学会との連携

例年、大阪市立大学法学会と連携して実施している法

学カフェ(茶話会における学部生との意見交換)等については、コロナ対応下の今年度については実施せず。

【法科大学院(法曹養成専攻)】

1. FD研修会の実施

(1) 第1回FD研修会

日 時：2020年5月19日(火)15時～16時30分

議 題：①2019年度後期授業について(授業アンケートへのコメント、科目別成績分布一覧)

議 題：②2020年度前期授業について：遠隔授業への対応

参加人数：30名

(2) 第2回FD研修会

日 時：2020年10月20日(火)15時～16時10分

議 題：①遠隔授業の問題・課題(授業アンケートへのコメント、科目別成績分布一覧)

議 題：②2020年度後期の授業について：感染症対策をしながらの対面授業の課題

参加人数：24名

2. 授業アンケートに対する教員のコメントの公表等
法科大学院では、全学とは異なる独自の授業評価アンケートを、前期・後期ともに実施し、その結果に対して教員がコメントを文書で作成し、公表した。

また、教務委員による教務関係のアンケートを、前期・後期ともに実施し、その結果を専攻会議において共有し、改善点の検討を行った。

3. クラス担任教員による学生との面談と組織的共有
法科大学院に所属する学生すべてについて担任となる教員を定め、前期に1回面談を実施するとともに、後期は学生の個別の申し出にもとづき適宜面談をおこなった。面談で学生からだされた意見・要望等は専攻内で共有をはかるなど、教育改善の検討資料として活用した。

4. アカデミック・アドバイザー(AA)と教員との懇談

AAと教員との意見交換会を複数回行い、両者の協力関係の強化に取り組んだ。

【文学部・文学研究科】

1. FD 関係研修会等

(1) 名称：令和2年度文学研究科第1回FD研修会

- 1) 実施日時 11月27日（金）12：00～13：15
- 2) 場所 Zoom
- 3) 題目 遠隔授業の工夫と苦勞——今後の発展可能性に向けて
- 4) 内容

報告者

海老根剛准教授：語学教育について

笹島秀晃准教授：全学共通科目と専門科目について

土屋貴志准教授：専門科目と大学院科目について

- 5) 参加者人数 44名
- 6) 事前アンケートをおこない18名から回答があった。

(2) 名称：令和元年度文学研究科第2回FD研修会（昨年度開催できなかった研修会を開催）

- 1) 実施日時 1月22日（金）12：15～13：15
- 2) 場所 Zoom
- 3) 題目 文学部の初年次教育について——「文学部基礎演習」の現状と課題
- 4) 内容

報告者

石川優先生（都市文化研究センター特任助教）

- 5) 参加者人数 38名
- 6) 他の初年次教育（「文学部基礎演習」）の担当者からも発言いただき、貴重な情報交換の場となった。

(3) 名称：令和2年度文学研究科第2回FD研修会

- 1) 実施日時 3月20日（土・祝）12：15～13：15
- 2) 場所 Zoom
- 3) 題目 遠隔授業の工夫と苦勞—パート2——学生とのコミュニケーション・毎回の課題、質問、最終レポート
- 4) 内容

報告者

長谷川健一先生：語学教育を中心に

祖田亮次先生：全学共通科目・専門科目の講義科目を中心に

- 5) 参加者人数 49名

2. 授業評価アンケートの実施

授業評価アンケート（前期、後期）の実施。

3. 大学教育授業実習

- ・今年度は応募者がいなかったため実施せず。
- ・来年度については募集したが、応募者がいなかったため実施せず。

4. 教育促進支援機構の活動

- (1) 履修相談会→WebClasss内での情報提供
- (2) 新入生歓迎キャンプ→中止
- (3) 文学部案内冊子2021の発行（広報ホームページ委員会と共同作業）
- (4) オープンキャンパスのコンテンツ
- (5) 学生によるコース・大学相談会／卒論セミナー／進路ガイダンスの開催
- (6) 2020年11月23日のオープン・ファカルティのフリートーク企画
- (7) 研究奨励賞、優秀卒論賞、優秀修論賞の表彰
- (8) 『フォーラム人文学』No.18の発行

【理学部・理学研究科】

1. FD 関係研修会等

(1) 理学研究科主催FD研修会「大学院数学教育および全学的数学教育における遠隔授業」

日時：2020年9月30日（水）15：00～17：30

会場：理学部E棟数学大講究室（E408）を拠点としたZoom開催

教員参加人数：20名

15：00～15：10 開会

15：10～ 共通教育科目代表者

高橋太「『基礎数学A』遠隔授業の実施報告」、

加藤信「解析I科目代表まとめ」、阿部健「応用数学Aの遠隔授業報告」、宮地兵衛「パワー

- ポイントスライド作成備忘録]
16:30～ その他
秋吉 宏尚 「基本」の線形代数Iとゼミでの簡易
書画カメラ」,堀口 達也(数学相談室),橋本 光
靖「代数学III および同演習のご報告」,田丸 博
士「位相数学I 演習(通信添削方式)およびゼミ
の遠隔授業報告」
- (2) 理学研究科主催FD研修会(数学研究所共催)
「システム制御と数学」
日時:2021年3月10日(水)15:00～17:50
教員参加人数:21名
15:00～15:10 開会
15:10～16:00 蔡 凱(工学研究科電子情報系専
攻)「Control Theory: A Bridge from Math to
Engineering」
16:20-17:10 鈴木 雄太(都市健康・スポーツ研
究センター)「身体運動の制御」
2. 数学科:カリキュラム検討会議(数学科教員全員、
毎月の教室会議にて)
3. 物理学科:内部質保証委員会からの報告
日 程:2020/11/10(火)9:00、
2021/2/2(火)9:00～13:05
場 所:オンライン
参加人数:11/10(24名)、2/2(24名)
概 要:内部質保証委員会から遠隔授業アン
ケート/GPAデータなどの報告を元に
議論した。
4. 物理学科:令和2年度、3年度の基礎物理学実
験I,II オンライン/映像化に関する取り組み
日 程:2020/4/2(火)15:00～17:00、
2021/1/20(水)15:00～
場 所:基礎教育実験棟指導室、オンライン
参加人数:15名程度
概 要:基礎物理学実験I,II オンライン/映像
化に関する打ち合わせをした。
5. 物理学科:教室会議
2020年7月1日 13:00～15:00
2020年7月22日 13:00～15:00
2020年8月18日 13:30～16:00
2020年9月17日 10:00～12:00
2020年10月6日 9:00～11:00
2020年11月10日 9:00～11:00
2020年12月24日 9:00～11:00
2021年2月2日 9:00～11:00
2021年2月17日 11:00～13:00
場 所:遠隔会議、またはE105
参加人数:約20名以上
概 要:教室会議の中で、授業や研究指導の内
容向上について議論・情報共有を行っ
た。
6. 物理学科:2020年度工学部FD集会での講演
日 程:2020/9/29(火)13:30～15:40
場 所:オンライン
参加人数:40名程度
概 要:基礎物理学実験におけるオンライン授
業の取り組みについて講演を実施した。
7. 物理学科:令和二年度 物理学専門実験の進め方
について
日 程:2020年4月上旬
場 所:メールによる議論
参加人数:15名程度
概 要:物理学専門実験オンライン対応に関す
る議論をした。
8. 化学科:教室会議
2020年4月17日 メール会議(化学科全教員)
2020年5月29日 メール会議(化学科全教員)
2020年6月26日 メール会議(化学科全教員)
2020年7月31日 メール会議(化学科全教員)
2020年9月4日 メール会議(化学科全教員)
2020年10月23日 Zoom会議(教員参加人数:
24名)
2020年11月11日 メール会議(化学科全教員)

- 2020年12月16日 メール会議（化学科全教員）
 2021年1月20日 メール会議（化学科全教員）
 2021年2月3日 メール会議（化学科全教員）
9. 化学科：化学教室2020作成（第一部：化学教室の構成と教育、第二部：教員の研究と活動）
10. 化学科：談話会
 (1) 談話会
 日時：2020年4月6日（土）16：20～17：10
 場所：理学部第1講義室
 演題：光機能性有機固体を対象としたレーザー分光分析
 講師：石橋千英先生（愛媛大学大学院工学研究科 講師）
- (2) 談話会
 日時：2020年11月20日（金）16：00～17：00
 場所：Zoomによる双方向講演
 演題：界面での分子・ナノ粒子の光捕捉と顕微計測
 講師：柚山健一先生（理学研究科 講師）
- (3) 談話会
 日時：2020年11月20日（金）17：00～18：00
 場所：Zoomによる双方向講演
 演題：天然物を基盤とした化学的研究
 講師：中山 淳先生（理学研究科 講師）
- (4) 談話会
 日時：2020年11月24日（火）15：30～17：00
 場所：Zoomによる双方向講演
 演題：分子建築学：目に見えない分子を自在に組み上げ機能材料を創る
 講師：寺尾 潤先生（東京大学大学院総合文化研究科 教授）
11. 化学科：新大学に関連した理学ワーキンググループ
 以下の件につき、電子メールによる会議を年間として随時実施した。（教員参加人数：府市両大学より計6名）
- ・理学新学舎の設計について、研究の利便性と従事学生の安全性確保に向けた仕様に関する議論
 - ・新大学学部、大学院入試作題に関する理学部化学科の取り組み取り組みについて
 - ・新大学化学科における研究室構成に関する今後の動向、将来設計の策定について
 - ・新大学化学科における学部生学習カリキュラムの再構築、大学院講義の英語化に関する議論
12. 化学科新入生オリエンテーション
 日 時：2020年6月13日（土）10：00～11：00
 人 数：新入生35人 教員2人
13. 生物学科：生物学科セミナー・講演等
 (1) 全学広域セミナー（アカデミックカフェ）
 日時：2020年7月9日（木）13：10～15：10
 場所：ZOOM ウェビナー
 演題：動物にころはあるか？
 担当：幸田正典氏（大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・教授）
 人数：174人
 概要：学内向けに、魚もヒトと同様に他者認識と自己認識できる研究を紹介した。他個体と自分を認識する過程に着目し、魚にもヒトのような高次の「ころ」があることを議論した。
- (2) セミナー（生体機能生物学ゼミナール）（生物学科の学生・教員、その他興味のある方向け）
 日時：8月14日（金）11：00am～12：10pm
 場所：ZOOMによる双方向遠隔授業
 演題：分子細胞からみた脳の機能
 担当：安田 涼平氏（米国マックスプランク、フロリダ研究所：科学ディレクター 兼 神経情報伝達研究部門長）
 人数：30人
 概要：脳にあるシナプス細胞内での分子情報伝達の、記憶形成における過程について、分子

細胞神経科学の基礎と最新の研究をセミナーした。学生から多数の質問が出て多角的な議論となった。

(3)セミナー（自然誌能生物学ゼミナール）（生物学の学生・教員、その他興味のある方向け）

日時：2020年11月6日（金）16：00～17：30

場所：ZOOMによる双方向遠隔授業

演題：アリにおける役割に応じた時間の使い方
-育児と防御に注目して-

担当：藤岡春菜氏（大阪市立大学 大学院理学研究科 情報生物学研究室：日本学術振興会PD）

人数：30人

概要：アリ、ハチといった社会性昆虫では、ワーカー間でさまざまな仕事を分担する労働分業がみられ、行動特性が進化している。アリの育児と防御において、ワーカーがどのような活動時間のパターンを示すのか研究内容を紹介し、議論を行った。

(4)学内教職員向けセミナー

日時：2020年12月9日（水）13：10～15：10

場所：ZOOMウェビナー

演題：納豆のねばねばってどんな分子でしょうか

担当：藤田憲一氏（大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・准教授）

人数：52人

概要：ネバネバの正体「ポリグルタミン酸」がヒトに与える影響について職員向けに講演した。

(5)ニューテクフェア

日時：2020年12月10日（木）13：10～15：10

場所：ZOOMウェビナー

演題：薬剤耐性を抑制する植物由来成分

担当：藤田憲一氏（大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・准教授）

人数：99人

概要：大阪近傍の産学官連携を目指して、真菌の

薬剤耐性を抑制する植物由来成分に関する最近の研究成果を発表した。

(6) ニューテクフェア

日時：2020年12月10日（木）13：10～15：10

場所：ZOOMウェビナー

演題：細胞骨格アクチンに作用する薬の働き方のイメージング

担当：藤原郁子氏（大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・助教）

人数：99人

概要：大阪近傍の産学官連携を目指して、細胞の動きを止める試薬の働き方について最近の研究成果を発表した。

(7) 全学広域セミナー（アカデミックカフェ）

日時：2020年12月16日（水）13：00～15：00

場所：ZOOMウェビナー

演題：パンデミックと未来がやってきた！

担当：宮田真人氏（大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・教授）

人数：103人（双方向による参加者）

概要：学内向けに、現代生物学から見たコロナパンデミックについて講演をおこなった（近日中午にYoutubeにて一般公開を予定）。

(8)セミナー（自然誌能生物学ゼミナール）（生物学の学生・教員、その他興味のある方向け）

日時：2020年12月18日（金）14：45～16：15

場所：ZOOMによる双方向遠隔授業

演題：精密な構造解析から明らかとなった、高度に制御されたシトクロム酸化酵素の反応機構

担当：島田敦広氏（岐阜大学・応用生物科学部・助教）

人数：20人

概要：シトクロム酸化酵素というミトコンドリア内膜に存在する呼吸鎖末端酵素について、その結晶と過酸化水素を凍結・結晶を作ることによって新たに決定した複数の中間体

の構造, および本酸素の還元反応とプロトンポンプとの共役機構について解説し, 議論した。

(9) 大阪市立大学 オンライン連続公開講座「ライフサイエンス～私たちのこころと身体～」

日時 2021年3月14日(日) 10:00～11:05

場所: zoom ウェビナーを使用したオンライン配信

演題: 植物由来精油(エッセンシャルオイル)の生理活性

担当: 藤田憲一氏(大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・准教授)

人数: 未計算

概要: 植物由来の精油成分について、その生理活性、特に抗菌活性の特徴を抗生物質と比較しながら概説した。(概要は予定です)

14. 生物学科: 学内での教育・研究活動改善にかかる会議と学年ごとの催事

(1) 生物学科教員による教室会議

2020年5月1日(教員参加人数: 22名)

2020年5月27日(教員参加人数: 21名)

2020年6月24日(教員参加人数: 22名)

2020年9月12日(教員参加人数: 22名)

2020年9月23日(教員参加人数: 15名)

2020年10月28日(教員参加人数: 19名)

2020年12月01日(教員参加人数: 16名)

2020年12月23日(教員参加人数: 19名)

2021年2月1日(教員参加人数: 16名)

2021年2月22日(教員参加人数: 14名)

2021年3月25日(教員参加人数: 未計算)

(2) 新入生向け登校日の開催

日時: 2020年7月17日 15:00～16:00

場所: 理学部棟 第10講義室

担当: 伊東明氏(大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・教授)

参加学生数: 対面28名、Zoom3名

概要: 4月の入学時ガイダンスが中止になったため、希望者が集まれる機会をつくり、学科

のガイダンスと学生の自己紹介を行った。

(3) オープンキャンパス(Web活用型にて実施)

学科の説明(主任)、模擬授業、卒業生からの一言の3つの動画を提供し、大学側がweb上の特設サイトに設置した。

模擬授業日時: 2021年8月7～20日

模擬授業場所: 大阪市立大学 オンライン

模擬授業演題: 体験入学(講義)

模擬授業担当: 増井良治氏(大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・教授)

受講人数: 75人

模擬授業: 高校生・高校教員・一般の方向けに、好熱菌を題材にして、地球上で最初に生まれた生命に関する研究を紹介した。

(4) オープンキャンパスに関するアンケート

理学部へのアンケートと質問用URLを設置、オープンキャンパス後に回答を作成・本学Webサイトで公開した。

(5) 学修状況(研究室配属)について

日時: 2021年02月01日 13:00～14:50

場所: 理学研究科会議室(E108)

参加学生数: 16名

概要: 研究室配属の時期と基準、また特別研究(卒論研究)の可否基準について学科で合議し、卒業研究発表時期を3月から2月にするようになった。

(6) 学生就職支援のアプローチの改善

日時: 2020年5月01日より継続

場所: ビジネスチャット(MS-Teams)

担当: 宮田真人氏(大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・教授)

人数: 生物学科全教員, 全学生を対象

概要: 企業からの就職関連資料, 就職支援課や教員や卒業生などからメッセージ, など関連情報を共有するリモートシステムを立ち上げ常時提供した。

(7) 学科ウェブサイトの管理運営

日時：前年度より継続

場所：部局ウェブサイト

担当：藤田憲一氏、曾我康一氏（大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・准教授、教授）

人数：生物学科全教員，全学生を対象

概要：リアルタイムに情報を更新することで、学生のモチベーションと学習効率の向上を行った。

場所：全学共通教育棟8号館816教室（双方向Zoom）

参加学生数：発表者 37名（教員以外は、事前に参加登録・機密情報漏えい防止の合意の上でZoomにて聴講）

概要：博士前期課程学生の修了審査をすべく、発表会を行った。

(8) 博士後期課程（博士号学位）公聴会の開催

日時：2020年12月28日 10：00～16：25

場所：学情1階文化交流室（双方向Zoom）

参加学生数：発表者 6名（計89名聴講、ただし教員以外は、事前参加登録・機密情報漏えい防止の合意の上でZoomにて聴講）

概要：博士後期課程学生の学位審査をすべく、公聴会を行った。

15. 生物学科：生物学科パンフレット2020の発行

日時：2020年6月30日

場所：メール審議

担当：曾我康一氏（大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・教授）

人数：生物学科教員全員22名

概要：新規内容に更新したパンフレットを作成し、B棟入口と理学部支援室に設置した。2021年2月4日には咲くやこの花中学校にて配布した。

(9) 博士前期課程（修士論文）発表会の開催

日時：2021年01月29日 9：55～16：55

場所：学情1階文化交流室（双方向Zoom）

参加学生数：発表者 17名（教員以外は、事前に参加登録・機密情報漏えい防止の合意の上でZoomにて聴講）

概要：博士前期課程学生の修了審査をすべく、発表会を行った。

16. 生物学科：国際専門誌の購入について

日時：2020年8月03日

場所：メール審議

担当：水野寿朗氏（大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・講師）

人数：15名

概要：雑誌”Current Biology”の生物共通費での購入を継続し、学生が簡単に生物学専門誌に目を通せる環境維持に努めた。負担額（今年度）は医学部と折半となった。

(10) 3回生への研究室紹介の開催

日時：2021年2月9日・10日 14：00～17：10

場所：Zoom

参加学生数：34名

概要：3回生へ向けて、卒業研究の研究室選びのために各研究室紹介を双方向ZOOMで行った。

17. 生物学科：生物学科年次報告書の作成方法の改善

日時：2020年8月3日

場所：メール審議

担当：安房田智司氏（大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・准教授）

人数：15名

概要：教員DBから抽出する方式を開始した。使用感について好評だった。

(11) 学士課程（B4）卒業研究発表会の開催

日時：2021年3月03日 9：20～17：50

18. 生物学科：実験装置の共用にかかる基礎的設備備

品費・先端研究設備整備補助事業の運用

基礎的設備備品費を学部学生の実験環境改善に用いた。

先端研究設備整備補助事業を用いて、電子顕微鏡用のカメラを購入した。

ビブラトーム (F113に設置、2019年度に購入) について、予約表を用いて多くの人が使えるようにした。

凍結試料作製装置を含む電顕について、杉本町に一基の生体試料用電顕を皆で長く活用する方法を検討した。

19. 生物学科：新大学の設立・運営について（基礎教育と実習室に関する会議）

場所：Zoom会議等10回ほど、メール審議1500件
担当：曾我康一氏（大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・教授）

概要：新大学における生物分野の基礎教育科目、また新大学森之宮学舎の生物学実習室に関して協議を重ねた。

20. 生物学科：新大学の設立・運営について（研究室・教室の引越しと学籍移動、授業と入試に関する会議）

場所：メールと対面併せて2000回以上

担当：中村太郎氏（大阪市立大学大学院理学研究科・生物地球系専攻・教授）

概要：装置の移設について、各研究室でリストアップした（対面会議5回、メール審議10回程度：参加者平均5名程度）。

- ・新校舎内の研究室配置について協議・決定した（対面会議10回以上、メール審議100回以上：参加者平均5名）。

- ・授業科目について府大の状況を考慮しながら協議した（対面会議10回以上、メール審議100回以上：参加者平均10名程度）。

- ・教職について協議した（対面会議10回以上、メール審議100回以上：参加者平均5名程度）。

- ・専門教育について協議した（対面会議

20回以上、メール審議100回以上：参加者平均5名程度）。

- ・新大学の入試制度について検討した。学籍移動の情報を共有した（対面会議10回以上、メール審議100回以上：参加者平均10名程度）。

21. 地球学科：教室会議におけるFD関連議題、遠隔会議8回、メール会議以下以外含め複数回

2020年4月14日：大学院入試に関する議論、学生の学習状況に関する対応（全教員、メール会議）

2020年5月28日：大学院入試に関する議論、遠隔授業の報告と意見交換（教員参加人数：11名）

2020年7月6日：遠隔授業の運用に関する意見交換（教員参加人数：11名）

2020年7月8日：大学院入試に関する議論、実習予算に関する意見交換（教員参加人数：10名）

2020年8月3日：学部、大学院入試に関する議論（教員参加人数：11名）

2020年9月4日：学部入試に関する議論、後期専門実習科目の運用に関する議論（教員参加人数：10名）

2020年9月24日：後期実習の運用に関する議論（教員参加人数：10名）

2020年12月3日：学部、学科専門授業の運用に関する議論（教員参加人数：10名）

2021年2月12日：学部、大学院入試に関する議論（教員参加人数：10名）

22. 地球学科新入生ガイダンス

日時：2020年5月13日 9:30~10:30

オンライン

人数：新入生15名 教員3名

23. 地球学科新入生オリエンテーション

日時：2020年6月8日 12:30~13:10

オンライン

人数：新入生20名 教員12名

24. 地球学科新入生後期オリエンテーション

日時：2020年10月8日 2：30～13：00

人数：新入生20名 教員3名

25. 地球学科1-2回生への研究室紹介を兼ねた3年生の研究発表会の開催(オンライン)

日時：2021年1月23日 12：30～16：30

参加学生数：1、2、3年生全員、教員12名

26. 化学科卒業研究発表のベストプレゼンテーション賞の選出

化学科卒業研究発表会において4名のベストプレゼンテーション賞を選出した。

27. 生物学科卒業研究発表賞および理学研究科研究業績優秀賞(生物分野)の選出

生物学科卒業研究発表賞および理学研究科研究業績優秀賞(生物分野)を選出した。

28. 理学部・理学研究科総代および学業成績優秀者、若野賞受賞者、研究業績優秀者の選出

理学部・理学研究科において、総代を学士1名、修士1名、博士1名、学業成績優秀者を1名、若野賞受賞者を1名、研究業績優秀者を4名選出した。

29. 学期ごとの授業評価アンケートの実施

理学研究科各学科教務委員を通じて、全学の「全学統一方式による授業評価アンケート」への協力を呼び掛けた。

実施日時：期末アンケート、中間アンケート(前期7週目・後期7週目)

実施科目：すべての科目

アンケート項目：期末アンケート(全学授業評価アンケート実施手順に準じる)、中間アンケート(自由記述)

対象者：受講学生全員

アンケート結果のフィードバック方法：ポータルサイトに掲載(期末アンケート)。また、学期中期に中間アンケートを行い、複数教員担当科目では結果をメール等で共有し、今後の講義で

反映できるようにした。学期末にもアンケートを行い、次年度講義での改善点などを共有できるよう呼びかけた。

30. 成績不振な学生に対する学習相談

研究室に所属している学生については研究室教員が直接面接を行い、学生の状況を把握するとともに、学力向上の方法について共に考える機会を作った。

31. 大学教育研究センターとの連携・協力を通じて、学内外のFD活動に関する情報を研究科で共有した。

【工学部・工学研究科】

1. FD関係研修会等

(1) 令和2年度工学部FD集会

1) 実施日時：令和2年9月29日(火)

2) 場所：オンライン

3) 全体題目：工学部における遠隔授業

4) 参加者人数：82名

内容：

「基礎教育科目(実験科目)における遠隔授業－基礎物理学実験における取組」

理学研究科 講師 小原 顕 先生

理学研究科 准教授 常定 芳基 先生

「ウェブ会議による新入生間、新入生・教員間のネットワーク構築」

教授 田窪 朋仁 先生

「遠隔授業に対する工学部学生アンケート集計結果」

重川 直輝 工学部教務委員長

「各学科における遠隔授業への取組」

工学部遠隔授業ワーキンググループメンバー教員

(2) 令和2年度第1回教員集会

1) 実施日時：令和2年12月18日(金)

2) 場所：オンライン

3) 全体題目：教職課程認定に関する書類作成

科研費を含む外部資金獲得状況

工学研究科におけるCOVID-19拡

大防止と安全な研究活動環境確保
に向けた取組

4) 参加者人数：81名

2. 入学時アンケート

(1) 学部新入生アンケートの実施

1) 実施日時

2020年7月29～8月14日：メール、UNIPA
で周知MSFormsにて実施。

2) アンケート項目

添付PDF

3) 対象者・人数

2020年度工学部入学生入学生286名中238名から回答を得た。

4) アンケート結果のフィードバック方法など

学部教務委員会にて結果を確認した。

機械工学科

(専任19名＋クロスアポイントメント2名) 3回

1. FD関係会議等

(1) 令和2年度機械工学科第一回FD会議

1) 実施日時：令和2年6月4日(木)

11:50～12:40

2) 開催形式：Zoom会議

3) 題目：1. 遠隔での新入生ビデオ交流会に関する報告 2. 学生のネット環境と遠隔授業受講困難な学生への対応 3. 遠隔授業における現状報告と課題

4) 参加者人数：19人

(2) 令和2年度機械工学科第二回FD会議

1) 実施日時：令和2年10月1日(木)

11:20～11:50

2) 開催形式：Zoom会議

3) 題目：認証評価について

4) 参加者人数：21人

2. 新入生ビデオ(Webex)交流会の開催

1) 実施日時：第1回2020年5月11日2時限目

第2回2020年5月12日2時限目

2) 参加者：教員11名 新1年生40名

3) 教員・学生の自己紹介、学修指導、学生間の情

報交換ツールの提示

4) Webex を利用した遠隔授業に関するアンケート

- ・交流会を開催することにより、学科規模でのビデオ会議の運営方法及び課題の明確化、遠隔授業等における教育能力の向上に向けた実践的方法の習得、に向けて組織的に取り組んだ
- ・交流会における学生からの意見・感想のうち重要なものについて、学科FD会議(6/4)にて対応を協議した。

電子・物理工学科(専任15名+特任1名)10回

1. FD関係研修会等

(1) 令和2年度第一回FD会議

1) 実施日時：令和2年4月24日(金)11:30～

2) 場所：オンライン開催(Zoom)

3) 内容：遠隔で行われる前期授業についての対策

4) 参加者人数：16名

(2) 令和2年度第二回FD会議

1) 実施日時：令和2年5月28日(木)20:00～

2) 場所：オンライン開催(Zoom)

3) 内容：学生実験・実習の対面実施、学生の学修状況、対面での1回生ガイダンスの実施方法について

4) 参加者人数：16名

(3) 令和2年度第三回FD会議

1) 実施日時：令和2年5月7日(木)16:00～

2) 場所：オンライン開催(Zoom)

3) 内容：WebClassでのレポート提出について

4) 参加者人数：16名

(4) 令和2年度第四回FD会議

1) 実施日時：令和2年6月25日(木)20:00～

2) 場所：オンライン開催(Zoom)

3) 内容：前期専門科目の成績評価、授業アンケートについて

- 4) 参加者人数：16名
- (5) 令和2年度第五回FD会議
- 1) 実施日時：令和2年9月11日（金）19：00～
 - 2) 場所：オンライン開催（Zoom）
 - 3) 内容：レポート指導、後期授業について
 - 4) 参加者人数：16名
- (6) 令和2年度第六回FD会議
- 1) 実施日時：令和2年10月30日（金）19：00～
 - 2) 場所：オンライン開催（Zoom）
 - 3) 内容：1 回生対象研究室体験、後期授業、学生実験の状況について
 - 4) 参加者人数：16名
- (7) 令和2年度第七回FD会議
- 1) 実施日時：令和2年12月18日（金）17：00～
 - 2) 場所：オンライン開催（Zoom）
 - 3) 内容：来年度の入学時アンケートの実施方法、来年度シラバスについて
 - 4) 参加者人数：16名
- (8) 令和2年度第八回FD会議
- 1) 実施日時：令和3年1月28日（木）19：00～
 - 2) 場所：オンライン開催（Zoom）
 - 3) 内容：2020年度卒業アンケート、2021年度入学時アンケートの実施方法、来年度の時間割、教室について
 - 4) 参加者人数：16名
- (9) 令和2年度第九回FD会議
- 1) 実施日時：令和3年2月18日（木）19：00～
 - 2) 場所：オンライン開催（Zoom）
 - 3) 内容：2021年度シラバス、授業の開講形態について
 - 4) 参加者人数：16名
4. その他
- (1) 電子・物理工学科2020年度新入生導入研修
- 1) 実施日時：令和2年7月11日（土）11：30～
 - 2) 場所：工学部大講義室
 - 3) 内容：大学生活と学修に関する研修
 - 4) 参加者人数：教員16名、学部1年生45名
- 電気情報工学科（専任18名+特任1名）10回**
1. FD関係研修会等
- (1) 令和2年度電気情報工学科第一回FD会議
- 1) 実施日時：令和2年4月23日
10：40～12：00
 - 2) 場所：オンライン
 - 3) 内容：新入生の連絡手段確認、コミュニケーション活性化のためのイベント企画.
 - 4) 参加者人数：9名
- (2) 令和2年度電気情報工学科第二回FD会議
- 1) 実施日時：令和2年4月28日
10：00～12：00
 - 2) 場所：オンライン
 - 3) 内容：オンライン新入生導入研修のイベント内容と日程を決定。5月7日にオンラインの新入生研修を実施.
 - 4) 参加者人数：10名
- (3) 令和2年度電気情報工学科第三回FD会議
- 1) 実施日時：令和2年5月7日
17：00～18：30
 - 2) 場所：オンライン
 - 3) 内容：第2回のオンライン新入生ガイダンスの内容と日程を決定.
 - 4) 参加者人数：8名
- (4) 令和2年度電気情報工学科第四回FD会議
- 1) 実施日時：令和2年5月12日
10：00～11：00
 - 2) 場所：オンライン
 - 3) 内容：新入生向けのコミュニケーション促進のためのTA配置について検討.
 - 4) 参加者人数：9名
- (5) 令和2年度電気情報工学科第五回FD会議

- 1) 実施日時：令和2年6月17日
13:15～14:45
- 2) 場所：オンライン
- 3) 内容：オフラインの新入生ガイダンスについて検討。7月11日に学情センターで新入生ガイダンスを実施することを決定。
- 4) 参加者人数：10名
- (6) 令和2年度電気情報工学科第六回FD会議
- 1) 実施日時：令和2年10月29日
11:00～12:00
- 2) 場所：オンライン
- 3) 内容：3年生の研究室先行配属と成績の確認。成績不振者に対して現状を把握し、後日個別面談を行うように学年担当の教員へ依頼した。
- 4) 参加者人数：10名
4. その他
- (1) 電気情報工学科2020年度第1回新入生導入研修
- 1) 実施日時：令和2年4月28日
10:00～11:00
- 2) 場所：オンライン
- 3) 内容：新入生自己紹介、オンライン会議ツールの使い方研修。
- 4) 参加者人数：教員15名、学部1年生49名
- (2) 電気情報工学科2020年度第2回新入生導入研修
- 1) 実施日時：令和2年5月11日
14:00～15:00
- 2) 場所：オンライン
- 3) 内容：グループディスカッション、TAとのコミュニケーション。
- 4) 参加者人数：教員9名、学部1年生49名、
TA9名
- (3) 電気情報工学科2020年度第3回新入生導入研修
- 1) 実施日時：令和2年7月11日
14:00～17:00
- 2) 場所：学術情報総合センター10階会議室
- 3) 内容：教員紹介、新入生自己紹介、グループディスカッション、キャンパスツアー。
- 4) 参加者人数：教員18名、学部1年生47名、
TA9名
- (4) 電気情報工学科2020年度第4回新入生導入研修
- 1) 実施日時：令和2年9月28日
14:00～17:00
- 2) 場所：学術情報総合センター10階会議室
- 3) 内容：サークル紹介、グループディスカッション、学術情報センター施設紹介ツアー。
- 4) 参加者人数：教員18名、学部1年生47名、
TA9名
- 化学バイオ工学科（専任19名+特任3名）7回**
1. FD関係研修会等
- (1) 令和2年度工学部化学バイオ工学科第6回FD集会
- 1) 実施日時：令和2年10月6日（木）
12:35～13:30
- 2) 場所：A棟第一会議室
- 3) 全体題目：学科専攻FD
- 4) 内容：教育プログラムごとの振り返り（3ポリシーに照らした取組、シラバス記載内容、授業アンケート、学年別面談やガイダンス）
成績分布資料の確認と意見交換、授業担当者への確認
各種指標（GPA）の推移と確認（問題点なし）
入試状況の確認
- 5) 参加者人数：18名
- (2) 令和2年度工学部化学バイオ工学科第5回FD集会
- 1) 日時：令和2年5月7日（木）
13:20～14:30
- 2) 場所：WEB会議
- 3) 全体題目：第5回遠隔授業の準備に関するオンライン会議
- 4) 内容：遠隔授業の準備状況の報告および作成したコースの動作確認、
ビデオ会議システムの紹介および全体

を通じた質疑応答

- 5) 参加者人数：18名
- (3) 令和2年度工学部化学バイオ工学科第4回FD集会
- 1) 日時：令和2年4月30日（木）
13：20～14：20
- 2) 場所：WEB会議
- 3) 全体題目：第4回遠隔授業の準備に関するオンライン会議
- 4) 内容：動画の編集および減量化法、提出課題の教員側の処理法、などのチュートリアルと質疑応答
- 5) 参加者人数：16名
- (4) 令和2年度工学部化学バイオ工学科第3回FD集会
- 1) 日時：令和2年4月24日（金）
13：20～14：50
- 2) 場所：WEB会議
- 3) 全体題目：第3回遠隔授業の準備に関するオンライン会議
- 4) 内容：学習記録の確認法、メッセージ機能の使い方、動画の作成法などのチュートリアルと質疑応答
- 5) 参加者人数：16名
- (5) 令和2年度工学部化学バイオ工学科第2回FD集会
- 1) 日時：令和2年4月17日（金）
13：20～14：20
- 2) 場所：WEB会議
- 3) 全体題目：第2回遠隔授業の準備に関するオンライン会議
- 4) 内容：Office365の使い方、複数の教材を組み合わせたユニット教材の作り方、メンバー登録法などのチュートリアルと質疑応答
- 5) 参加者人数：16名

(6) 令和2年度工学部化学バイオ工学科第1回FD集会

- 1) 日時：令和2年4月10日（金）
13：00～14：30
- 2) 場所：WEB会議
- 3) 全体題目：第1回遠隔授業の準備に関するオンライン会議
- 4) 内容：WebClassへのログイン法、教材の種類と作り方、作成例の見本の解説などのチュートリアルと質疑応答
- 5) 参加者人数：17名

2. 授業評価アンケート

(1) 名称：工学部化学バイオ工学科・化学生物系専攻前期授業アンケート

- 1) 実施日時：令和2年10月6日（木）
12：35-13：30
- 2) 実施科目：前期に実施の科目
- 3) アンケート項目：工学部共通の項目
- 4) 対象者：全教員
- 5) アンケート結果を科目名を伏せて、領域ごとに公開し、確認・議論した。

都市学科（専任18名、都市系専攻（都市+建築）では+3名）15回

1. FD関係研修会等

(1) 2020年度都市学研究科第1回FD集会

- 1) 実施日時：2020年9月14日（月）
12：50～13：20
- 2) 場所：リモート会議
- 3) 内容：工学部・工学研究科としての2019年度卒業・修了時アンケート結果に対する意見交換および遠隔授業に対する意見交換
- 4) 参加者人数：16名

(2) 2020年度都市学科遠隔授業情報交換会

- 1) 実施日時：2021年1月15日（金）
17：10～18：30
- 2) 場所：リモート会議

- 3) 内容：非常勤講師を含めた遠隔授業実施状況に関する意見交換
ダンスの運営について意見交換。コロナ禍のもとでの授業の進め方について情報共有。オンライン授業で悩む学生に関する情報共有。
- 5) 参加者人数：18名
- (3) 2020年度都市学研究科第2回FD集会
- 1) 実施日時：2021年3月10日（水）
13：35～13：55
- 2) 場所：リモート会議
- 3) 内容：2020年度都市学科卒業時アンケート結果に対する意見交換および授業科目の成績の付け方について意見交換
- 4) 参加者人数：18名
4. その他
- (1) 月1程度の間隔で実施する学科会議内で、学生の履修状況やカリキュラムなどについても報告・確認・議論を行った。全12回実施。参加人数16～19名。
- 建築学科（専任11名＋クロスアポイントメント1名）**
- 9回**
1. FD関係研修会等
- (1) 卒業論文、卒業設計
- 1) 実施日時：2020年6月8日
- 2) 場所：オンライン
- 3) 内容：今年度の卒業論文と卒業設計の進め方について意見交換
- 4) 参加者人数：11名
- (2) オープンキャンパス
- 1) 実施日時：2020年7月6日
- 2) 場所：オンライン
- 3) 内容：webオープンキャンパスについて意見交換
- 4) 参加者人数：12名
- (3) COVID-19困窮学生への対応、職業ガイダンス
- 1) 実施日時：2020年8月3日
- 2) 場所：オンライン
- 3) 内容：困窮学生について情報共有。職業ガイダンスの運営について意見交換。コロナ禍のもとでの授業の進め方について情報共有。オンライン授業で悩む学生に関する情報共有。
- 4) 参加者人数：12名
- (4) 指定校推薦制度、製図室
- 1) 実施日時：2020年9月14日
- 2) 場所：オンライン
- 3) 内容：指定校推薦制度で入学した学生の修学状況に関する情報共有と意見交換。今年度の製図室使用のルールについて意見交換。レーザーカッターの活用について情報共有。
- 4) 参加者人数：9名
- (5) 製図室、卒業論文
- 1) 実施日時：2020年11月2日
- 2) 場所：オンライン
- 3) 内容：製図室の使用状況について情報共有。卒業論文の受理方法について意見交換。
- 4) 参加者人数：12名
- (6) 指定校推薦制度
- 1) 実施日時：2020年11月27日
- 2) 場所：オンライン
- 3) 内容：新大学での指定校推薦制度について意見交換。コロナ感染学生と要指導学生について情報共有。
- 4) 参加者人数：11名
- (7) 推薦入試合格者の課題相談会、就職指導、非常勤講師との意見交換会
- 1) 実施日時：2020年12月21日
- 2) 場所：オンライン
- 3) 内容：推薦入試合格者の課題指導の方法について意見交換。求人状況と学校推薦について情報共有。非常勤講師との意見交換会の開催について確認。卒論発表会の開催方法について意見交換。

4) 参加者人数：12名

(8) 卒業式の運営方法、卒業設計、ゼミ配属ルール

1) 実施日時：2021年2月1日

2) 場所：オンライン

3) 内容：卒業生代表や表彰学生の選出。卒業設計の採点講評について意見交換。ゼミ配属ルールの確認。卒論発表会の開催方法について意見交換。

4) 参加者人数：12名

(9) 卒業判定、進級判定、入学試験

1) 実施日時：2021年3月8日

2) 場所：オンライン

3) 内容：卒業判定、進級判定について情報共有と意見交換。要指導学生について情報共有。入試の状況について情報共有。

4) 参加者人数：12名

【医学部・医学研究科】

1. FD関係研修会等

(1) 2020年度第1回教育分野FD講習会

日時：2020年9月11日

場所：オンライン（Zoomミーティング）及び
後日動画視聴

内容：

○【シリーズ：医学教育分野別認証評価を終えて】

「自己点検評価 領域4 学生」

神経精神医学 井上 幸紀 教授

○【シリーズ：医学教育実習の新しい形】

「医学生・若手医師への腹部超音波検査タスクトレーニングの導入と効果について」

肝胆膵病態内科学 元山 宏行 病院講師

○「IR (Institutional Research) 室だより」

総合医学教育学・IR室 栩野 吉弘 准教授

参加人数：383名（教員202名 学生181名）

(2) 2020年度第2回教育分野FD講習会

日時：2020年12月2日

場所：オンライン（Zoomミーティング）及び

後日動画視聴

内容：

○【シリーズ：医学教育分野別認証評価を終えて】

「自己点検評価 領域7 プログラム評価」

皮膚病態学 鶴田 大輔 教授

○【シリーズ：英語・EBM教育の実際】

「医師にとっての英語の必要性・医学英語論文の読み方：授業での取り組み」

産業医学 林 朝茂 教授

○【シリーズ：講義・実習の新しい形】

「医学生評価、mini-CEXについて」

総合医学教育学 豊田 宏光 講師

参加人数：214名（教員185名 学生29名）

(3) 2020年度第3回教育分野FD講習会

日時：2021年3月5日

場所：オンライン（Zoomミーティング）及び
後日動画視聴

内容：

○【シリーズ：医学教育分野別認証評価を終えて】

「自己点検の評価 領域6 教育資源」

臨床感染制御学 掛屋 弘 教授

○【シリーズ：基礎医学教育の新しい取り組み】

「私の教育に対する取り組み」

病態生理学 大谷 直子 教授

○【シリーズ：講義・実習の新しい形】

「OSCE前・M4臨床スターター実習について」

総合医学教育学 鎌田 紀子 講師

参加人数：335名（教員159名 学生176名）

(4) 第5回FDワークショップ (WS)

日時：2020年12月5日

場所：医学部学舎4階大講義室

内容：教育：困っていること

卒業時目標設定&ロードマップ作製

学生評価と学習の種類

全体発表

振り返り

参加人数：45名

(5) 共用試験OSCE内部評価者講習会

日 時：2020年10月26日

場 所：医学部学舎 5階 微生物実験室

参加人数：54名

2月10日、3月9日に開催した。

【生活科学部・生活科学研究科】

1. 学部FD研修会

- ・2020年度生活科学研究科FD研修会

実施日時：2021年3月9日（火）

14時00分～14時30分

講 師：松木洋人（生活科学研究科）

場 所：学術情報総合センター1F文化交流室

題 目：新大学における初年次教育に向けて

参加人数：41名

2) 初年次教育

2018年度から、初年次教育「食品栄養科学概論」を1年前期に導入した。この授業では、食品栄養科学分野の様々な課題や、管理栄養士のあり方などをテーマとし、グループ討議やプレゼンテーション指導を実施していたが、今年は新型コロナウイルス対応のため遠隔実施となり、学科教員による①自己紹介、②自身の研究内容の紹介、③新入生へのアドバイスなどを内容とする遠隔授業に変更した。事後の授業アンケートでは、遠隔実施であったにもかかわらず、たいへん高い評価を得た。

2. 授業評価アンケート

(1) 全学授業評価アンケート

実施日時：試験前の2週間

実施科目：すべての科目

アンケート項目：

全学授業評価アンケート実施手順を参照

対象者：受講学生全員

アンケート結果のフィードバック方法：

ポータルサイトに掲載

3) 卒論指導

新型コロナウイルス対応のキャンパス立ち入り制限のため、実質的に7月1日からの開始となった。例年通り主査とアドバイザー教員による複数指導体制によって指導を行った。

3. 各種会議での取り組み

- (1) 各学科とも学科会議中、FD事項を独立させ、FD事項をすべての教員にフィードバックしている。

- (2) 学部教務委員会・院教務委員会でもFD事項を別途設けて、情報集約に努めている。

4) 遠隔による卒業論文発表会の試行

大阪府での緊急事態宣言（新型コロナウイルス対応）を受け、卒業論文発表会を遠隔実施とした。WebClassを用い、音声入りのmp4形式とpdf形式での発表を可とした。発表要旨はスマホでも見やすいようにA4/1ページとした。質疑応答はWebClassの掲示板機能を使って行った。発表会後に会議を行い、改善点などを話し合った。

4. 各学科独自の取り組み

(1) 食品栄養科学科

1) 月例FD会議の実施

毎月の学科会議内にFD会議の時間を設け、授業内で生じている問題や学生についての情報共有に努めた。4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、8月18日、9月8日、10月20日、11月17日、12月15日、1月19日、

(2) 居住環境学科

1) 月例FD会議の実施（月1回）

日時（参加教員数）：4/28（14名）、5/26（15名）、6/23（メール審議）、7/28（12名）、8/26（15名）、9/15（12名）、10/27（11名）、11/24（13名）、12/22（13名）、1/26（15名）、2/15（15名）、3/16。

内容：学科専任教員参加のもと、授業PDCA、

科目ごとの課題の確認と改善、教育システムの点検、学生の学習状況の確認、合同ゼミの実施報告等を月例で行い、FD情報の共有に努めた。主な議題は次の通り。①授業の進め方についての意見交換（4月・9月）：遠隔授業の実施方法に関して、設計製図授業での新入生へのフォローについて、設計製図の進め方の情報共有、概論の実験やフィールドワークの実施方法について、意見交換を実施した。9月は前期の振り返りと後期授業の進め方、授業PDCAより前期必修授業の問題点等振り返り。②学生への連絡方法についての確認（5月）：メールにて、UNIPAの掲示板に上がっていた情報の件数や内容について確認し共有した。③新入生アンケート（7月）：結果、回答状況について。④学生の遠隔授業の学習環境について（1月）：遠隔授業ガイドや貸し出しパソコンについて学生にメールにて周知。

2) 居住環境デザインフォーラムの開催への検討
例年実施している居住環境デザインフォーラム（4年間の設計製図教育および卒業設計・卒業研究を概観できる場）について、今年は、コロナウイルス感染防止対応で中止することとした。来年度について、オンラインで開催できるように検討をすすめた。

3) 卒論、卒計の指導と審査

主査副査による複数指導、類似分野の合同ゼミ（今年度から年間2回に）での発表、学科の中間発表会、最終発表会をオンライン・対面の混合で実施。最終発表会後には、主査が修正指示書を作成し指示を与え、卒論達成度評価シートに基づき、審査会を主査・副査で行い、学科会議で合否判定をおこなった。

4) その他

教員2人一組での担任制（担任企画）、オフィスアワー（今年は対面を休止、メールで受付）等の教育支援活動を継続

(3) 人間福祉学科

1) 人間福祉学科FD会議

毎月、学科の全教員が参加する講座会議において、FD会議の時間を設けて、授業内で生じている問題や学生についての情報共有に努めた。具体的には、今年度は、9月8日、10月20日、11月17日、12月15日、1月19日、2月10日、3月9日に対面会議を開催した。

2) 総合福祉科学コースFD研修会

総合福祉科学コースのコース会議においても、数回、FD研修会を開催して、特定のテーマについて議論を行った。各回のテーマは以下の通りである。

6月23日：新大学設置の際の大学院カリキュラムの再編成

1月19日：社会人Bと推薦入試を利用して入学した修了生についての振り返り

3) 「人間福祉学概論」における取り組み

2018年度からは、演習形式で7人前後の新入生を履修者とする少人数教育によって、大学生としてのレポートの書きかた、プレゼンテーションの書きかたについて学ぶという方式の初年次教育を実施していたが、2020年度前期は遠隔授業として開講されたため、オムニバスの講義形式で学科の各教員が自分の専門分野についての導入教育を実施した。

【医学部看護学科・看護学研究科】

1. FD関係研修会等

(1) 令和2年度大阪市立大学大学院看護学研究科 第1回FD研修会

実施日時：令和2年9月3日（木）

10:30~12:00

開催方法：ZOOM ミーティング
 テーマ：遠隔授業の実践紹介と意見交換
 内容：以下のとおり報告があり、質疑応答を行った。
 「看護過程論における遠隔授業の実践紹介」森木ゆう子准教授
 「在宅看護学における遠隔実習の実践紹介」岡本双美子准教授
 参加者数：33名（専任教員20名、特任教員9名、実習・演習非常勤教員4名）
 概要：新型コロナウイルス感染症防止対策として実施した遠隔授業の具体例について報告を受け、教材作成や遠隔授業に用いるツールなどに関する意見交換を行った。この研修会により、今後の遠隔による講義、演習、実習の内容や方法を考える機会となった。

(2) 令和2年度大阪市立大学大学院看護学研究科 第2回FD研修会

実施日時：令和3年3月4日（木）
 10：00～11：30
 開催方法：ZOOM ミーティング
 テーマ：講義・演習・実習における学内での新型コロナウイルス感染症防止対策
 内容：5グループに分かれて感染防止対策を紹介し、質疑応答を行った。
 参加者数：30名（専任教員20名、特任教員7名、実習・演習非常勤教員3名）
 概要：学生が密集しやすい学内での講義・演習・実習を中心に、新型コロナウイルス感染症防止対策について情報を共有し、次年度に向けた準備や留意点などを具体的に考えることができた。

2. 授業評価アンケート

実施日時：全学の提示時期
 実施科目：すべての科目
 アンケート項目：期末アンケート（全学授業評

価に準じる）、中間アンケート（自由記述）

対象者：受講学生全員

アンケート結果のフィードバック方法：ポータルサイトに掲載（期末アンケート）

3. 学生に対する学習相談

休学中の学生等に教務委員が面接し、学生の状況を把握するとともに履修等について助言指導を行った。遠隔授業の受講方法、機材等の学習環境の整備、対人関係等に関する学習相談に、教務委員が学務事務と協力して対応した。

【都市経営研究科】

FD 委員 阿久澤麻理子

1. FD研修会

実施日時 2020年7月27日（月）15：30～18：00

方法 Zoomによる

内容

(1) 研修会「新しい授業様式の探求：オンライン活用による講義・演習の模索」

講師：金野和弘島根県立大学准教授

地方大学のオンライン教育の例などについてのご報告。

前田博美氏

企業で多数の大学教員に、ZOOMやTEAMSを指導している立場から、オンライン教育の具体的な方法や可能性について。

(2) オンライン授業を実施するにあたって「後期授業の取扱い方針」について協議及び「研究データ等の保存に関するガイドライン」について協議。

2. 授業アンケートの実施（前期・後期とも）

3. ホームカミングデーでの学生・教員によるディスカッション

実施日時 2020年11月3日（火・祝）10：00～16：00

方法 Zoomによる

院生会と共に、ホームカミングデーをzoomにより開

催した。10:00より1時間ずつコースごとに学生代表による研究発表を行った。さらに13:00~14:00には「コロナ禍における社会人大学院のあり方」をテーマに、新藤研究科長、阿久澤FD委員、学生代表と共にパネルディスカッションを行った。これらのディスカッションは、Zoomにより全教員・学生が参加可能な形で実施され、オンライン授業における利点と課題について、教員・学生を交えた形で、議論と情報共有を行った。

4. その他

新型コロナウイルス感染症の広がりにより、社会人大学院(夜間・週末)である都市経営研究科も、前期はすべての授業、後期も多くの授業をオンラインで実施することになった。ただし多くの授業は「リアルタイム」で実施され、いわゆる学部で実施されているオンデマンド型とは異なる。コロナ禍で、社会人学生の働き方も大きな影響を受けることとなったが、中には職場から「大阪市にあるサテライトに通学すること」への制限がかかったり、医療福祉の現場で働く学生の場合は、職場で感染対策に当たったりすることもあり、多くの授業では、オンラインでのリアルタイム講義とあわせて「録画提供」を行った。

【都市健康・スポーツ研究センター】

1. FD研修会

(1) 遠隔授業の実施方法に関するFD研修会

- 1) 実施日: 2020年6月15日(月)
- 2) 場所: zoom
- 3) 内容
 - ① 遠隔授業に関するアンケート結果について
 - ② Microsoft Formsの使い方の紹介
 - ③ 遠隔授業に関する意見交換
- 4) 参加人数: 6人

(2) 2020年度健康・スポーツ科学科目実習担当教員におけるFD研修会

- 1) 実施日: 2020年10月1日(木)
2020年10月2日(金)
2020年10月6日(火)

2) 場所: 第2体育館管理室

3) 内容

- ① 2020年度学年暦について
- ② 健康・スポーツ科学科目(実習)における感染防止対策について
- ③ 新型コロナウイルス感染・疑い発生時のフロー
- ④ 対面授業におけるQRコードによる使用座席の把握について
- ⑤ 更衣室の利用方法とスケジュールについて
- ⑥ 履修カードの変更について
- ⑦ WEB問診について
- ⑧ 意見交換

4) 参加人数: 19人(10月1日: 10人、10月2日: 3人、10月6日: 6人)

(3) 都市健康・スポーツ研究センターFD研修会

- 1) 実施日: 2021年3月9日(火)
- 2) 場所: 大阪市立大学健康科学イノベーションセンターおよびzoom
- 3) 内容
「ヘルスリテラシーの育成~学校現場におけるこれからの健康教育~」
講師 渡邊 正樹 氏
(東京学芸大学 教職大学院 教授)
- 4) 参加人数: 人

【英語教育開発センター】

1. アンケート

(1) 2020年度全学共通教育英語科目に関する教員アンケート調査の実施

- 1) 実施日: 2020年9月1日~9月15日(前期)
2021年2月9日~2月17日(後期)
- 2) 調査目的: オンライン授業下での教育状況の把握と環境改善
- 3) 調査方法: Microsoft Forms
- 4) 調査対象: FE I~IV担当の英語ネイティブ教員(専任・特任・非常勤教員) 23名
SE I~II担当の日本人教員(専任・特任・非常勤教員) 30名

Advanced English担当の英語ネイティブ教員・日本人教員（専任・特任・非常勤教員）11名

2. 報告

(1) 遠隔授業に関する教員アンケート調査の結果報告

- 1) 報告名：2020年度全学共通教育英語科目に関する教員アンケートの調査報告
－ Freshman EnglishとSophomore Englishを対象として－

2) 報告執筆者：野田三貴（専任教員）、辻香代（専任教員）

3) 報告掲載誌：英語教育開発センター紀要第3号

(2) 令和2年度 Freshman English 遠隔授業報告

2.1 報告 1

1) 報告名：Remote teaching the past year : circumstances and strategies

2) 報告執筆者：David Chen（特任教員）

3) 報告掲載誌：英語教育開発センター紀要第3号

2.2 報告 2

1) 報告名：EEDC Practical Reports on Remote Teaching –Fall 2020

2) 報告執筆者：David Stepanczuk（非常勤教員）

3) 報告掲載誌：英語教育開発センター紀要第3号

【人権問題研究センター】

1. 人権問題研究センター主催FD 関係研修会

今年度は遠隔授業の進め方、技術的講習、成果・課題などについての研修を重ねた。

下記研修会以外にも、遠隔授業の技術的サポートなどを適宜、教員相互に行った。

【前期FD研修会】

- 1) 日時 2020年8月19日（水）
午後2時～午後4時

2) 場所 ZOOMと人権問題研究センター共同研究室

3) 事項 「初めての遠隔授業を振り返って」
非常勤講師、専任教員による遠隔授業経験の分かち合い

人権教育にとっての遠隔授業の意義などについてのディスカッションを行う。

参加者12名

【後期FD研修会】

1) 日時 2021年1月28日（木）
午後2時～午後4時

2) 場所 ZOOM

3) 事項 「遠隔授業の効用と限界」
非常勤講師、専任教員による一年間の遠隔授業の経験を踏まえて、
遠隔授業の「効用」と「限界」についての意見交換を行う。

参加者6名

1) 日時 2021年2月3日（水）
午後3時～午後5時

2) 場所 ZOOM

3) 事項 「遠隔授業の課題と非常勤講師へのサポートのあり方を考える」
非常勤講師、専任教員による一年間の遠隔授業の経験を踏まえて、特に非常勤講師にとっての遠隔授業における支援課題についてお聞きし、今後の対応策について意見交換を行う。

参加者6名

2. 全学FD研修への参加

1) 日時 2020年11月2日
午後1時～午後5時

2) 場所 ZOOM

3) 事項 「第28回教育改革シンポジウム・第18回FD研究会」への参加

参加者数名

3. 副専攻カリキュラムについて

【副専攻担当者会議】

- 1) 日時 2020年4月より2021年3月までにかけて
約10回
- 2) 場所 ZOOMならびに人権問題研究センター共同
研究
- 3) 事項
人権副専攻0期生の学びの成果・課題を踏まえて、
来年度の人権副専攻のカリキュラム・具体的進め方
についての検討をおこなった。